

Hands^{ome}

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 畠山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷株

1月例会

平成20年1月16日(水)
米子全日空ホテル

今回は、講師に日産自動車株式会社のマーケティング本部マーケティングダイレクターの加治慶光さんをお招きし『顧客接点を活用した実践的マーケティングで生き残りを図れ！～NISSAN GT-R・スカイラインを事例として』というタイトルで行われた。オープン例会ということもあり、OB会員はもちろん一般の方も多数参加され開催された。

はじめに、中田会長より『今期も半年が過ぎたが、委員会の落としどころばかり考えず、のびのびと委員会活動をして欲しい。』とあいさつをされた。続いて新入会員バッジ授与では、米子ガス株式会社の生田育永さんが、新人らしい滲刺とした挨拶をされた。委員長タイムでは政治行政委員会の松江委員長が「自分と中央会」という



題目で自身の経験を交えながら熱く語られ、入会年数の浅い会員には、特に刺激になったのではないだろうか。

さてメインの講演会。冒頭で加治先生は最初に就職された都市銀行で悩まされた、日本ならではの習慣のエピソードを紹介されつつ、ご自分の経歴をお話された。現在は日産自動車で主にGT-R・スカイラインのマーケティングを手がけておられる。

折しも、スカイラインは生誕50周年を迎えるとのことで、貴重な映像を交えながら販売戦略などをお話いただいた。スカイラインのように、50年間も引き継がれている国産の車はごくごく稀(トヨタ・クラウンと2車種のみ)であるといわれた。激動の変化を見せる自動車業界のお話が印象的である。また、GT-Rに関しては大変ユニークな販売戦略を展開されていて、ほとんどコマーシャルは無し、車の全貌もギリギリまで隠す、さらにマスクをかぶらせてさながら「忍者」といった感じでいっているようだ。また、日本国内だけのマーケットにとらわれず、世界をターゲットにしたグローバルな視点も興味深い。時速300キロ(!)を超える車で、BMWやベンツなどをライバル車として想定する、というような驚かされるコ

ンセプトである。日産自動車は、トヨタやホンダと違って、多国籍企業でありその意味でも非常に面白い会社である、というお話も付け加えられた。



個人的な感想ではあるが、今回の講演の内容をすぐに自分の会社で反映させることは正直無理だとも思う。だが、世界全体を視野に入れながら考えていかなければ、この先会社が伸びることは難しいのかもしれないと漠然とはあるがそんな感想を抱いた。

記事：山本博



鳥取県中小企業青年中央会 平成19年度 委員長・副委員長交流会

日時：平成20年1月26日 15:00～
於：湯梨浜町はわい温泉 羽衣



県役員三役、各地区の委員長・副委員長、担当県出向4名を含む計43名の参加者が中部の地に集い開催された。冒頭、田中県会長が『今期のテーマ“共感”～共に感じ、共に感動できる～のもと、今年度は副委員長にも“共感”していただきたく交流会を企画しました。東中西の垣根を取払い、互いに刺激しあひ下期の活動に生かして欲しい』と述べられた。次ぎに各委員長・副委員長が自己紹介を兼ねて3分間スピーチを行ない、各自企業の事業内容や委員会活動について話された。引き続き委員長・副委員長別に分かれ、委員長テーマ【各地区の例会のあり方

と魅力ある例会作り】副委員長のテーマ【委員会をどの様に盛り上げるか】についてグループディスカッションが行なわれた。共通意見として、魅力ある例会、委員会にするには、基本となる委員会において委員長の思い、例会の意義・魅力をどう伝えるかは勿論、欠席がちな会員のフォローや様々な仕

掛けづくりをし、会員が受身にならないよう参加型の会にしていくことにより、会員個々の意識が高まるのではないかと意見が多く出された。総評では谷口副会長が『交流会の経験を持ちかえり下期の委員会活動に役立ててください。』と締めくくられた。

記事：石川



委員会活動 総務委員会

皆さんこんにちは、総務委員会委員長の手島です。今年の総務委員会のテーマは「足跡」。

「足跡」については後半に書くとして、まずは前期の活動についてご報告します。

最初の担当は7月総会懇親会。しかし長田副委員長と「どこから手つければいいだ？」と、まるで組み立て説明書の無い戦艦のプラモデルは買ったような物で、唯一の方法は経験のある委員会メンバーに聞くのみ。それでも何とか委員会のメンバーに支えられ、無事？終了。「総会懇親会の反省は12月の忘年例会に生かすぞ」と、私の心はもう忘年例会に向かってまっしぐら……

そんな猪突猛進の私にブレーキを掛けてくれるのが副委員長の長田君。『委員長！8月の書記会計説明会どうするんですか？』アッそれもあつた！これまた手探りで、何とか終了。

そして忘年例会。担当の我々が楽しく笑いながら出来なければ参加する皆様楽しんでいただけない。そのためには、複雑でなく、担当が「簡単・簡単・楽勝！」と思えるような内容にすべきだ。とおもいテーマを「楽笑」(らくしょう)にしました。

会員の皆様と参加していただいた来賓OB会員の皆様には、賛否両論あるとは思いますが、忘年例会を盛り上げていただき誠

にありがとうございました。

最後にテーマの「足跡」についてです。

お察しのとおり、今現在、会の運営や手続きに必要な書類や通年行事の手順などがまとまっておらず、不明な点は、「支所に聞け」とか「経験のあるメンバーに聞け」という様に、情報が散乱しています。後期の総務委員会は、次年度以降の会員のために、それらをまとめデータベース化し、3月にリニューアルします。ホームページから取り出せる仕組みを広報委員会と協力して行います。楽しみにしておいてください。

OB訪問



27期卒会 久古雅彦OB

ご入会のきっかけは？

同会の先輩でもあるM先輩が勤め先に直談判に来られまして『おもしろい会があるけん、入らないや！』というお誘いで入会しました。少し迷ったのですが、その当時37歳だったので、約8年間の在籍は「長くも無く、短くも無く丁度いいかな」とおもってましたね。

今おもうと10年くらい在籍したかったな！？なんておもいますよ。

入会当初はどんな会でしたか？

僕らの頃は、もろ体育会系のノリでした。入会当初はフレッシュ委員会に配属されて委員会の前に灰皿の準備・片付け、お茶酌みなんかは当たり前でした。でも、厳しい中にもだんだん「青年中央会」という団体の仲間意識が芽生えて委員会、例会の日が待ち遠しかったですね。

思い出に残っている出来事はありますか？

色々な思い出があるんですけど、やっぱり卒会年度の総務委員長をしたことかな。

当時の会長だった《男！》岩田慎介会長に電話で依頼されたんですけど、仕事と委員長業の両立で胴巻きが出て担当例会の司会をしたこともありました。ほんとに死ぬかとおもいました。

それと、やっぱりトライアスロンかな。マラソン部で開催まで2ヶ月間は仕事と準備の繰り返しでしたが、その当時の仲間とは今でも飲み友達としてお付き合いしていますね。

現役会員、新入会員に一言

まず、入会したら自分をどれだけアピールできるか？ということ意識して欲しいですね。積極的に会に出て一人の人間として仲間を作ることですかね。せっかくのチャンスですし、一生の知り合いに出会うかも知れないですもんね。現役会員にも言えることですが、せめて精勤賞ぐらいは獲ってほしい。

寂しいことは、トライアスロンの活動も消極的になっていることかな。何ヶ月も周到な準備をして開催した時に、選手から御礼を言われる感動を味わってほしいですね。

最後に一言

現在、前の勤め先のホールサムインかいは退職して、中央会入会のきっかけとなった松岡社長が経営されるサンククリーンに勤めています。毎日四苦八苦していますが、皆様とお会いすることとおもいますので、これからも宜しく御願います。

久古OBには、早朝のインタビュー依頼にもかかわらずお引き受けいただき、すごく紳士的で気さくな方で、色々な話を聞かせていただきました。実は私と同じ会社ということで、公私ともどもご指導いただいています。

記事：勝田

Creative&Action

「いま挑戦していること」

高野真二会員

昨年6月に子供が生まれ、最近自分の体の健康や体力が気になっています。運動会で走れないようなことじゃ困りますね。そんなこともあり私が習っているダンスについて書かせていただこうとおもいます。

私は一年位前からダンススクールに通っています。ダンスといっても社交ダンスですが。今は週1回ぐらいしか行きませんのでなかなか上手くなりません。最近はやりの芸能人のダンスに刺激されたわけではありませんが、体も動かせるいい運動にもなるだろうとおもい通いはじめました。なかなかステップが覚えられず、「リズムに合わせて」となると難しいですが、上手に踊っている生徒さんを見て「自分もいつかはきつ」と思いがばっています。

ダンスという派手なイメージもあるかとおもいますが、外国映画のワンシーンのようにさりげなく踊れたりするのもかっこいいじゃないですか。

というわけで今年はダンスをがんばって健康面にも気をつけていきたいとおもっています。ダイエットにもいいかもしれませんよ。

もちろん中央会の活動もがんばります！

どなたかご興味のある方がおられましたらお気軽に声をかけてください。Shall We ダンス？

(これは内緒ですが中央会の現役会員の中にも一緒に習ってられる方もいますよ(笑))

中央会の思い出

尾沢聡巳会員



「中央会の思い出」という題での原稿依頼を受けて、正直ハッとしました。恥ずかしながら中央会での思い出がないというか、思い浮かんでこないのです。これも全ては私の不徳の致すところで、今まではほとんど参加してこなかったためでありました。中央会へお誘いいただきました中本先輩、これまでの配属先の委員長を始め多くの方を裏切り続けたことを申し訳なくおもいます。私も一度経験がありますが、一生懸命ぶつかった分だけ何らかの形で自分に返してくれるところが、青年団体の良いところだとおもいます。皆さんも是非色々なことにチャレンジしてみてください。

最終年度も手島委員長以下、役に立たない私を上手に持ち上げてくださりまして、ありがとうございました。最後の「中央会の思い出」として、卒会旅行を楽しみにしています。

厄落としの会

平成20年1月14日(月) 勝田神社



朝方は雪が舞降り極寒で明けた当日、鳥取県西部中小企業青年中央会の「厄落としの会」が開催された。集合時間には穏やかな気候になり、12:00から行われた厄落としの神事は、対象会員35名の内お礼参り7名、本厄8名、前厄2名の計17名の会員が参加して執り行なわれた。

参加者の生年月日、氏名が読み上げられたのち、お礼参りの山本竜男会員、本厄の佐々木委員長、前厄の内藤会員の3名が代表として玉串奉納を行ない、祈祷は滞りなく終わった。その後、厄除けのお札をいただき参加者全員が神社前で記念撮影を行った。

その後、海潮園に移動し、祈祷を終えた会員の内10名と、残念ながら祈祷には来られなかった方も1名参加され、総勢11名にて懇親会が開催された。懇親会では、幹事の佐々木委員長による乾杯の挨拶で始まり、恒例?のニョッキの掛け声の中、長時間耐久の懇親行事となった。

毎年、この懇親行事を見守ってくださっている海潮園の中島会員からは、『今年はより紳士的な懇親行事であった』との言葉をいただいたがその基準はいかに・・・

記事:土岐哲己会員



おもひでの一言

A word of a memory

ピンチはチャンス 蓼本満梨子会員

広告会社という職業柄、色々な立場の方にインタビューをすることがあります。その時々にお話をしていただくのですが、私の心に一番残っているのは、ある美しい女性社長からいただいたお言葉です。

“ピンチはチャンス!”どこかで聞いたことがあるようなシンプルな言葉ですが、語呂の良さもあいまって心に残っています。ケラケラと高らかに笑う美女の過去には、仕事で騙されたり大病で入院したりと、壮絶な人生がありました。『人には器があり、その人が乗り越えられない出来事は起こらない。大変なときは自分を見直す良いチャンスととらえ、頑張ってきた』という言葉聞き、私も辛いときや悲しいときには、“ピンチはチャンス”と唱えるようになりました。

中央会活動においても、先輩会員がOB会員からお聞きした良いお話を、私たちに聞かせてくださることがありますが、一番入会して良かったとおもえる瞬間です。これからの長い活動の中で、自分も人間として(体重ではなく)一回りも二回りも大きくなれたらとおもっています。

行ってきました冬の大山! 紺碧の空と白銀の大地に感動!

今月の一枚



1月初旬大山に行ってきました。昨年同様雪不足が心配されましたが、年末の大雪で見事な雪景色に。当日は快晴、雲一つない青空(というより紺色だった)と真っ白な雪(というよりまぶしい白)のコントラストに感動しました。これぞスカイラインか!

初めての雪山に子ども(大人も)大はしゃぎ! これはそのときの1枚です。自宅から30分程でこのような別世界があるとは・・・、またひとつ山陰の魅力に触れた1日でした。

山口啓一郎会員

中央会アーカイブス

全国の中央会アーカイブスファンの皆様、申し訳ありません。今迄、脈々と引き継がれていた暴露ネタ、朝日町ネタは、いったん小休止して、鳥取県西部中小企業青年中央会の本質に迫る、シリアスネタを書かせていただきます。

【其の壱】 しきたり

我が西部青中には、会則にも規約にも附属にもない、「しきたり」が多くあることは皆様もよくご存知のことです。そして、中にはすばらしいものもあれば、ちょっと解せないものもあるのは、世の常であります。

そこで私が入会した時には厳しくしつけられたのに、今は殆どなくなってしまった(先輩に怒られるかな?)「しきたり」をご紹介します。

それは、入会一年目の新入会員は、たとえ年下であっても、先輩会員には全て「さん」付けで呼ばなければならないというものでした。少しでも入会が早ければ、教えていただくことが多々あるわけです。一度はプライドを捨ててみなさいという教えます。一生懸命、理解しようと心がけました。恐い恐いN井修O本総務委員長(当時)は、委員会のたびに「これだけは守れ」としつこく言われるし、某信用金庫のN野先輩が新入会員だった時に、同級生の先輩会員を何度注意されても「いっちゃん」と呼び続け、一緒に飲んでいたY原農園の熱血中央会人間Y原会員におしぼりを投げられたという話も聞きました。しかし、いけません、一人だけどうしても「さん」付けで呼べない人がいるのです。どうしたものかと悩んだ末、思い余って「T海直前総務委員長」と呼んで、「ダラ、そげな役職はネーワレ!」と、同級生に偉そうに言われたのでした。懐かしいと言ってもたった8年前の出来事です。

このように、「しきたり」も生き物のように変わっていきますが、温故知新という言葉も忘れずにおきたいものです。

記事:福田一哉会員

【其の弐】 100ゾノの恐怖

ほんとは、長年の私の研究結果であるT海OBの「癖とくせ」について発表したかったのですが、字数をオーバーしそうなので急ぎ前号出の免疫のないおっさんがハマった店でのアーカイブスです。

その日、W槻・T海OB(当時)と私は、「その免疫のないおっさんがどうやら恋に落ちたらしい」という噂を聞きつけ、確認のためその店に調査に出掛けました。そこで見たものは・・・!あまりの光景でとても皆様にご報告することが出来るものではありませんでしたが、そこに現れたのが独自通貨ゾノを使いこなすあの男です。その男は我々の席に同席し、自分のボトル(40%ぐらい残ってた)を惜しげもなく「どーぞ皆さんで召し上がって下さい。」と提供しました。我々は既に調査の目的は達成していたので、楽しい時間を過ごした後、ボトルもなくなったので次に行こうという話になり、礼儀として新しいボトルを入れて返しておこうということと同じボトルを入れたら、そのボトル、何と100ゾノ!ゾノを使いこなせない我々は、泣く泣くボトル代だけで一人33,000円支払い、人の秘密を暴こうとした報いだと大いに反省したのでした。ゾノ、恐るべし!それでも私はおもいます。「野武士は夜育つ」と。

瓦斯屋さんの豆知識

ガスコンロの活用術

岩田 剛会員

今回はガスコンロについて書きたいとおもいます。山陰酸素という会社名からなのか、どうしても「酸素を売っているの？」といわれることが多々あります。私が所属しておりますのは米子支店L Pガスグループ。いわゆる一般のご家庭に、ガスコンロやガス給湯器などを販売しています。最近のガスコンロは結構優れたもので、安全機能が充実した高付加価値の商品が良く売れています。その中でもグリル(魚焼きの部分)の活用術をお教えします。

【お漬け物】

(用意するもの)きゅうり 1本、大根またはカブ 1/4本、塩・昆布だし 少々

(調理方法)きゅうり・大根は乱切り。塩・昆布だしを振り、アルミホイルで包んで焼く。

(両面焼きの上下強火で約3分で出来上がり)

【ゆで卵】

(用意するもの)卵・キッチンペーパー・アルミホイル

(調理方法)卵をキッチンペーパーで包み、水に濡らしてアルミホイルで更に包んで、焼く。

(完熟の場合、上下強火で約10分。半熟の場合、上下強火で約8分)

【ガーリックトースト】

(用意するもの)フランスパン・バター・にんにく

(調理方法)フランスパンを斜めに薄切りにし、にんにくをバターとよく混ぜ、パンに塗って、焼く。焦げ目がついたら出来あがり。(食パンの厚切りでもOK)

(上火は中火、下火は強火で約2分)

などなど。是非、ご家庭で披露されてみてはいかがでしょうか？お父さんの株急上昇になること受け合いです。来る2月9日・10日に米子食品会館に来て頂きますと「体感」出来ます。

・・・念のために。ガスコンロでないとうまく出来ません。ご注意ください。・・・

1 月度委員会報告

会員力委員会

平成20年1月10日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名

議題/・会員拡大について

・4月担当例会について

・新入会員オリエンテーションについて

地域ビジョン委員会

平成20年1月9日(水)於:魚菜屋 出席者/10名

議題/・商品企画、提案について

企画、提案された商品を試食し意見交換・課題点の議論

環境問題委員会

平成20年1月9日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/12名

議題/・下期活動内容について

・その他

ビジネス委員会

平成20年1月11日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/9名

議題/・3月オープン委員会について

・足立美術館視察について

・その他

魅力アクション委員会

平成20年1月10日(木)於:白鳳の里 どんぐり館 出席者/8名

議題/・講演:「淀江の水と歴史について」

講師:淀江文化センター副館長 笹尾千恵子先生

・3月担当例会について

政治行政委員会

平成20年1月8日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名

議題/・2月担当例会について

・その他

広報委員会

平成20年1月9日(水)於:レストラン ぶどうの木 出席者/12名

議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担

・HPについて

総務委員会

平成20年1月8日(火)於:大連

出席者/9名

議題/・12月忘年例会の反省

・その他

2月役員会報告

2月定例役員会が平成20年2月1日(金)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・1月例会の反省・報告の件
- ・2月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

2月例会案内

と き:平成20年2月14日(木) 19:00~開会

と ころ:米子コンベンションセンター国際会議室

内 容:高校生によるプレゼンテーション

全体でのディスカッション

テーマ:『どげかしよいや』-ボくらに出来ないことはない-

担 当:政治行政委員会

編集後記

最近、NHKのリリースした大河ドラマのDVD「徳川家康」にはまっている。小生が中学生の頃であったらどうか、大人たちが年末に再放送される総集編に涙していたのが思い出される。時に狡猾く、計略をもって天下統一をなした人物として描写している他の映画やドラマもあったようだが、この大河ドラマにおいては終始、民を思い、家臣を思い天下泰平の世を願う「堪忍の人」として描かれている。恩賞で家臣の心を引きつけるのではなく、「志を同じくしてくれ」と熱心に説き、家臣と強い精神的なつながりを地道に作り上げていくストーリーは物欲にまみれた現代社会を痛烈に批判しているようではない。若干雑問答のようではあるが、人心把握の手法は会社経営にも役立つのではなかろうか。

広報委員会

お知らせ

【所属企業変更】

小椋崇永会員

・企業名:永大

・住 所:〒683-0835 米子市灘町3-5

・TEL:32-6672 ・FAX:35-5819

【住所変更】

後藤太良会員

・企業名:有限会社 クレア・ウオモ

・新住所:〒683-0805 米子市西福原7-12-23